



美術品移転作業の報道公開について

1月16日(木)鳥取県立博物館⇒鳥取県立美術館

3月30日に開館する鳥取県立美術館（鳥取県倉吉市、館長 尾崎信一郎）では、美術品の移転作業の一部を報道関係の皆様にご公開いたします。

【経緯】

鳥取県立博物館の美術部門では1972年の開館以来、作品・資料の収集を続け、現在では1万点を超える資料を保有しています。このたび博物館から美術部門が独立し、鳥取県立美術館として新規開館するにあたり、博物館から美術館への作品の移転作業が進められています。

【概要】

日時 | 2025年1月16日(木) 14:30～15:30ごろ (予定)

場所 | 鳥取県立美術館 (倉吉市駄経寺町2-3-12)

撮影可能箇所 |

- ・北側トラックヤード：トラックの進入の様子
- ・荷物用エレベーター：作品の積み込みの様子
- ・収蔵庫前室：作品が搬入された様子、一部作品の開梱・ご紹介

撮影可能作品 |

- ・アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》
- ・伊藤若冲《花鳥魚図押絵貼屏風》

【注意事項】

※防犯上、搬出・搬入の導線は撮影できません。別カットにて撮影をお願いいたします。
※道路状況や作業状況により、予定時間が前後する場合があります。ご了承ください。

★当日ご取材いただける場合、下記担当まで必ずご連絡をお願いいたします。

【お問合せ・お申込】

鳥取県地域社会振興部美術館 (担当 生田)

電話：0858-47-3011 ファクシミリ：0858-47-3022

E-mail: tottori-museum@pref.tottori.lg.jp